

- ▶アンケート「ノンクリスチャン教職員が担うべきキリスト教教育とは何か」(3~2面)
- ▶キリスト教教育者物語(4面)
- ▶キリスト教Q&A(〃)
- ▶教職員就職支援登録について(〃)
- ▶公葬・行事予定(〃)

キリスト教学校教育 3

2016・2017年度教研テーマ
時代の担い手としてのキリスト教学校 共に喜び、共に泣くー

【出】キリスト教学校教育同題
〒169-0031 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教学校会館7号室
電話 03(6233)8225
FAX 03(6233)8226
理事 藤原 浩一
副理事 田村 隆一
編集 田村 隆一
印刷 200円(加刷法入の増刷料は会費に含まれています)
(毎月1回15日発行)

2016年度教研全国委員会

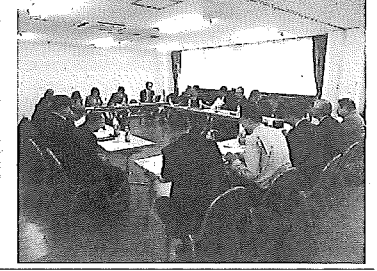
「教育研究委員会の点検評価」を実施

2016年度教育研究委員会(教研)全国委員、育同連事務局長が、専らに教研テーマをめぐっての部会を小学会が2016年12月20日と、ため国立教育政策公開室に東京・西早稲田の日本キリスト教学校会館6階会議室で開催され、担当理事・委員・事務局あわせて24人が参加した。

今回の委員会では、従前から行っている教研の点検評価の報告や課題の共有、課題解決に向けての検討などに加え、新たに「教育研究委員会の点検評価」を実施した。これからは、教研の点検評価を全国委員会で実施し、その結果を教員に点検評価が送付された。

「教育研究委員会の点検評価」は、教研の点検評価を全国委員会で実施し、その結果を教員に点検評価が送付された。これは、教研の点検評価を全国委員会で実施し、その結果を教員に点検評価が送付された。

「教育研究委員会の点検評価」は、教研の点検評価を全国委員会で実施し、その結果を教員に点検評価が送付された。これは、教研の点検評価を全国委員会で実施し、その結果を教員に点検評価が送付された。



「それから、霊」は、キリスト教で伝統的なイエスを荒野に送り出層(教会層)を大切にしていた。イエスは四十日間、エルサレム(東方から)を歩き、サタン、公会堂、ロマカトリック、マルコによる福音書12章13a節)。

以前、旅行会社に勤め、愛知から名古屋まで来た卒業生から「イエス」と呼ばれている期間が設けられています。期間は、イエスがエルサレムを歩き、サタン、公会堂、ロマカトリック、マルコによる福音書12章13a節)。

「それから、霊」は、キリスト教で伝統的なイエスを荒野に送り出層(教会層)を大切にしていた。イエスは四十日間、エルサレム(東方から)を歩き、サタン、公会堂、ロマカトリック、マルコによる福音書12章13a節)。



聖書のことは 坪井 智

「それから、霊」は、キリスト教で伝統的なイエスを荒野に送り出層(教会層)を大切にしていた。イエスは四十日間、エルサレム(東方から)を歩き、サタン、公会堂、ロマカトリック、マルコによる福音書12章13a節)。

以前、旅行会社に勤め、愛知から名古屋まで来た卒業生から「イエス」と呼ばれている期間が設けられています。期間は、イエスがエルサレムを歩き、サタン、公会堂、ロマカトリック、マルコによる福音書12章13a節)。

「それから、霊」は、キリスト教で伝統的なイエスを荒野に送り出層(教会層)を大切にしていた。イエスは四十日間、エルサレム(東方から)を歩き、サタン、公会堂、ロマカトリック、マルコによる福音書12章13a節)。



十字架に釘を打つことで自らの罪深さとイエスの受難を想う行事が行われる。

同じバックグラウンドをもつ共同体として



磯 晴久

今私はこの原稿を英国カントベリーにて書いております。毎年カントベリー大聖堂では、「新任主教のための研修会」が開催されており、私も比較的若い年代の大主教として機会が与えられたわけです。カントベリー大聖堂は、桃山学院はじめ聖公会関係学校のバックグラウンドにある私たちが聖公会の象徴的な意味での故郷、あるいはルーツと言っている大聖堂です。故郷・原郷に立ち帰ることを望む。主教職を巡るレクチャー・交流会が行われるわけです。この研修会の中で、スタッフや講師から特に強調して語られることがあります。それは「教育研究委員会の点検評価」の結果を教員に点検評価が送付された。

「教育研究委員会の点検評価」は、教研の点検評価を全国委員会で実施し、その結果を教員に点検評価が送付された。これは、教研の点検評価を全国委員会で実施し、その結果を教員に点検評価が送付された。

「教育研究委員会の点検評価」は、教研の点検評価を全国委員会で実施し、その結果を教員に点検評価が送付された。これは、教研の点検評価を全国委員会で実施し、その結果を教員に点検評価が送付された。

「それから、霊」は、キリスト教で伝統的なイエスを荒野に送り出層(教会層)を大切にしていた。イエスは四十日間、エルサレム(東方から)を歩き、サタン、公会堂、ロマカトリック、マルコによる福音書12章13a節)。

以前、旅行会社に勤め、愛知から名古屋まで来た卒業生から「イエス」と呼ばれている期間が設けられています。期間は、イエスがエルサレムを歩き、サタン、公会堂、ロマカトリック、マルコによる福音書12章13a節)。

「それから、霊」は、キリスト教で伝統的なイエスを荒野に送り出層(教会層)を大切にしていた。イエスは四十日間、エルサレム(東方から)を歩き、サタン、公会堂、ロマカトリック、マルコによる福音書12章13a節)。

「それから、霊」は、キリスト教で伝統的なイエスを荒野に送り出層(教会層)を大切にしていた。イエスは四十日間、エルサレム(東方から)を歩き、サタン、公会堂、ロマカトリック、マルコによる福音書12章13a節)。

以前、旅行会社に勤め、愛知から名古屋まで来た卒業生から「イエス」と呼ばれている期間が設けられています。期間は、イエスがエルサレムを歩き、サタン、公会堂、ロマカトリック、マルコによる福音書12章13a節)。

「それから、霊」は、キリスト教で伝統的なイエスを荒野に送り出層(教会層)を大切にしていた。イエスは四十日間、エルサレム(東方から)を歩き、サタン、公会堂、ロマカトリック、マルコによる福音書12章13a節)。

加盟校アンケート集計

ノンクリスチャン教職員が担いうるキリスト教教育とは何か

今回のアンケートは、昨年度のアンケート『キリスト教学校教育』紙について」の中の「アンケートで取り扱ってほしいテーマ」の集計をもとに、昨年10月の全国広報委員会や中高研究集会等で意見を伺った結果、最も要望の多かった「ノンクリスチャンの教職員が担いうるキリスト教教育とは何か」というテーマで、小・中・高校のノンクリスチャンの教職員の方に率直なお答えをいただきました。

年末年始のご多忙の時期にご協力いただきまして、深く感謝いたします。(広報委員会)

★各校におけるキリスト教職員の割合
(代表者・担当者からの回答)

	発送数	回答数	回答率
小学校	32校	17校	53.1%
中学・高校	105校	52校	49.5%

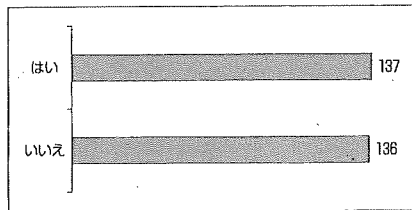
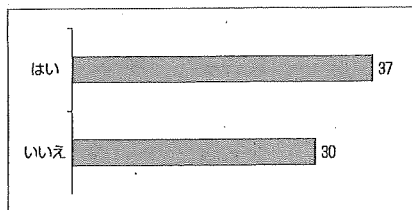
	1~9%	10~19%	20~29%	30~39%	40~49%	50~59%	60~69%	70~79%	80~89%	90~99%	100%	その他
小	0	2	1	2	1	2	2	1	2	0	4	0
中高	3	17	9	10	6	1	1	0	0	0	4	1

★ノンクリスチャン教職員からのアンケート回答

	発送学校数	回答校数	回答率	回答数	うち職員数
小学校	32校	17校	53.1%	67人	8人
中学・高校	105校	59校	56.2%	273人	11人

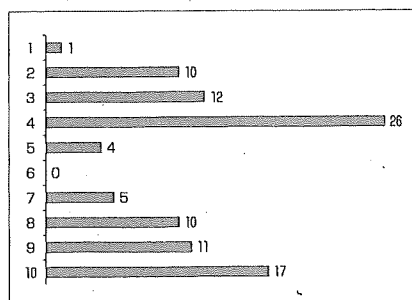
(グラフは上が小学校、下が中学・高校。質問1以外複数回答あり)

質問1 ノンクリスチャンの教職員とクリスチャンの教職員の間、違いを感じることがありますか。



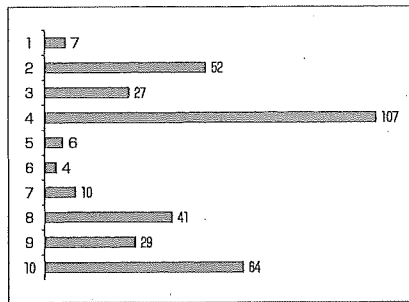
質問2 質問1で「はい」とお答えになった方への質問です。違いはどのような機会に感じますか。

1. 教職員の待遇
2. 管理職のクリスチャンコードの問題
3. 教職員間の会話
4. 礼拝
5. 授業
6. 進路指導
7. 会議
8. 学校行事
9. うかがい知るプライベートの生活
10. 学校のあり方等に対する姿勢や考え方



質問4 キリスト教学校の員に奉職したいと思ったその理由は何ですか。

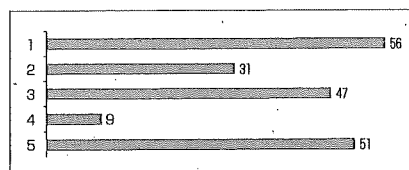
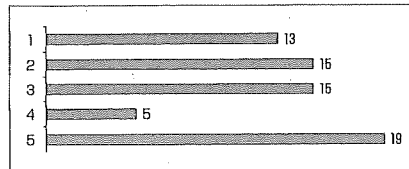
1. たまたま教職員の募集があったから
2. キリスト教教育に関心があったから
3. キリスト教学校である貴校をもともとよく知っていたから



11. その他 (小学校)
- ・けんか等子どもの指導をする時
 - ・児童への普段の何気ない指導内容
 - ・礼拝や教会での奉仕
- (中高校)
- ・日曜日の部活動
 - ・言葉遣い
 - ・激務の中、日曜日をはじめ教会生活を大切にされている
 - ・キリスト教教育に関する意見がしづらい
 - ・道徳教科化への考え方
 - ・生徒指導の際の先生方の脱論の話
 - ・性教育
 - ・生きる姿勢
 - ・日曜日の部活動引率についての考え方
 - ・専任のクリスチャンコードの問題
 - ・人間性
 - ・折ることができること
 - ・キリスト教関係の委員会や行事の担当になかなかならないこと

質問3 質問1で「はい」とお答えになった方への質問です。その違いに対して、どのような感想を持ちますか。

1. 違うのだから仕方がない
2. クリスチャン教職員の考え方や感じ方を知りたい
3. クリスチャン教職員の考え方や感じ方に同感できる
4. クリスチャン教職員の考え方や感じ方に同感できない
5. クリスチャン教職員の考え方や感じ方と共有できる部分を探りたい

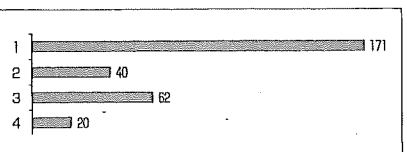
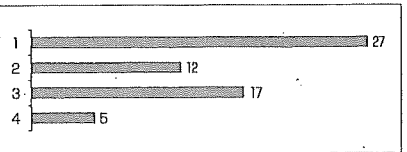


6. その他 (小学校)
- ・クリスチャン教職員がノンクリスチャン教職員に対して思っていることがあるように感じる
- (中高校)
- ・クリスチャン教員間でも大きく考え方が違うように思う 2
 - ・物事の判断材料や捉え方が自分とは異なるが反論は感じない
 - ・学校としてキリスト教をどこまで守るのかなど確認したい
 - ・「クリスチャンはこんな風考えているのか」とそのたびに新鮮に感じる
 - ・尊敬するが、自分が実行できるかはむずかしい
 - ・礼拝の語の内容に芯があるように感じる
 - ・クリスチャン教職員が少ないので姿勢や考え方、感じ方が伝わりにくい
 - ・同感できるどころとできないところがある
 - ・違いを認めればよいことだと思う
 - ・考え方に共感できない部分もある

質問4 キリスト教学校の員に奉職したいと思ったその理由は何ですか。

1. たまたま教職員の募集があったから
2. キリスト教教育に関心があったから
3. キリスト教学校である貴校をもともとよく知っていたから

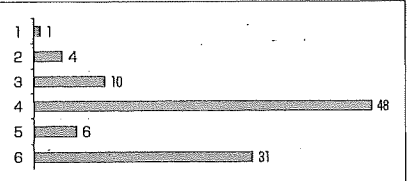
4. 知人が勤務していたから



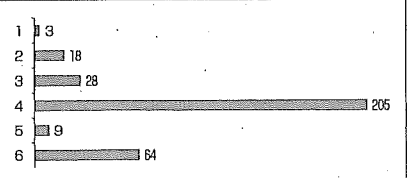
5. その他 (小学校)
- ・自校の卒業生だから 10
 - ・キリスト教学校出身だから 4
 - ・教育理念や方針・思想に共感したから 2
 - ・学生時の教員に勧められた 2
 - ・自分の経験が役立つと思ったから
 - ・知人の紹介があったから
 - ・未受洗だが「信仰を持っていたから
 - ・キリスト教に限らず宗教教育に関心があったから
- (中高校)
- ・教科担任制をとっていたから
 - ・自校の出身だから 18
 - ・キリスト教学校の出身だから 13
 - ・校風に魅力を感じたから 2
 - ・就職の誘いを受けたから 2
 - ・出身校の恩師の紹介 2
 - ・家族が卒業生で良く話を聞いていたから 2
 - ・大学で紹介されたから 2
 - ・前任校もキリスト教学校で行事等なじみがあったから
 - ・授業を見学した時の生徒の様子から
 - ・在籍大学と本校の大学が姉妹校のため創立者一族が研究対象だったから
 - ・同級生や知人が卒業生だったから
 - ・中高一貫校だから
 - ・キリスト教の幼稚園に通っていたから
 - ・学校の教育方針の根幹にキリスト教教育があるから
 - ・クラブ指導の関係で
 - ・紹介者が本校をよく知っていたから

質問5 学校の礼拝には出席していますか。

1. 全く出席したことがない
2. 時々出席することがある
3. 割合出席する方ではある
4. 毎回必ず出席している
5. 礼拝奉仕もしている
6. 礼拝での説教・お話を担当することもある



※1、2はすべて事務職員、5は奏楽担当含む



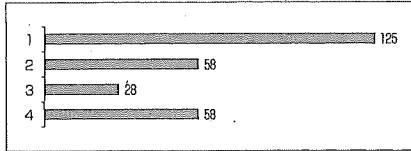
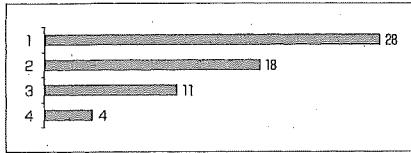
※1は事務職員2人含む、5は奏楽担当含む

7. その他 (小学校)
- ・基本全出席だが仕事により出席できない時もある
- (中高校)
- ・礼拝時は校舎内の巡視を実施している 2
 - ・他の業務がある場合以外は出席している 2
 - ・以前は何度か出席したが、現在は職務上出席していない 2
 - ・「仕事として」出席している 2
 - ・電話対応業務があるため礼拝には出席できないが全放送を流すので毎日聴いている (職員)

(3面よりつづく)

質問6 学校でキリスト教や聖書に関する教職員対象の学習会・講習会・修養会・リトリート等がありますか。

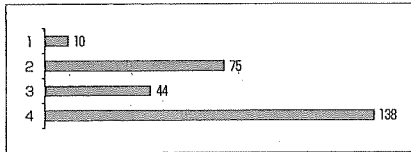
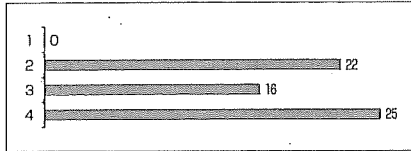
- 1. 定期的に行われている
2. たまに行われることがある
3. 以前行われたことがあった
4. 全く行われることはない



- 5. その他 (小学校)
・職員会議で話がある場合もある 2
・キリスト教教育についての講習会は行われたことがある (中学校) なし

質問7 学校でキリスト教教育に対する考え方等を、理事長・学院長・校長・チャレンなどから聞かれることがありますか。

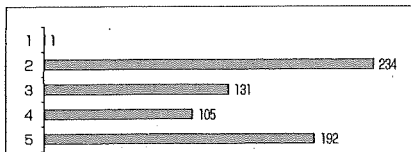
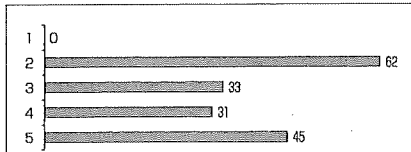
- 1. 定期的に関問される場がある
2. 時折そのような機会が設けられている
3. 以前そのようなことがあった
4. 全くない



- 5. その他 (小学校)
・話の中で 2
・面接の時
・世間話程度 (中学校)
・採用時の面接のみ 6
・直接はないが試されているようなことがある
・折に触れて話題にはのぼる

質問8 ノンクリスチャンである教職員がキリスト教教育で担うことができることとして、どのようなことが考えられますか。

- 1. 担う必要がない
2. キリスト学校としての建学の精神の共有
3. 礼拝
4. キリスト教に関する教育の実践
5. キリスト教関連行事の協働

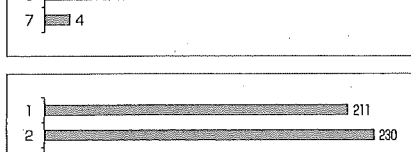
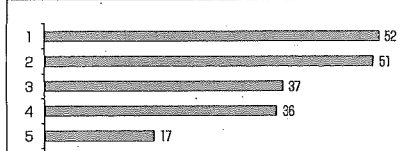


- 6. その他 (小学校)
・特に意識はしないが存在は認められながら業務を実施している
・キリスト教を軸にした生活や規範の指導 (中学校)
・ノンクリスチャンの生徒に寄り添い、互いにキリスト教について学ぶことができる 3
・信仰の有無に関わらず信念を持って生徒に向き

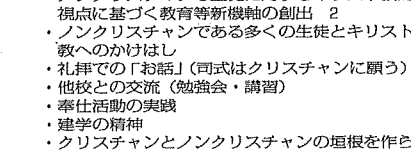
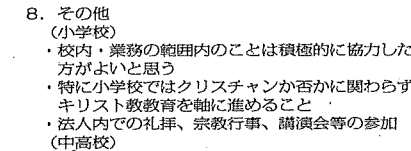
- 合い教育活動に専念すること 2
・教科教育への応用 2
・道徳的な内容をキリスト教教義に則っての講話
・礼拝を守ることの大切さを教職員や生徒と話すこと
・あらゆることに取り組みなくてはならない
・ノンクリスチャンとしての言動

質問9 ノンクリスチャンである教職員にとって、キリスト教学校で必要だと思うことは何ですか。

- 1. 学校の礼拝への出席
2. キリスト教教育への協力
3. 校内でのキリスト教や聖書やキリスト教教育に関する研修会や読書会
4. 学校のキリスト教行事の企画や運営への携わり
5. 校外でのキリスト教教育に関する研修会等への参加
6. 近隣の教会の礼拝などへの出席
7. 特になし

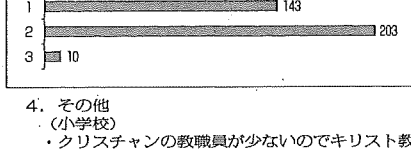
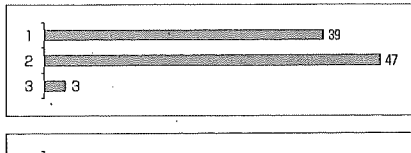


- 8. その他 (小学校)
・校内・業務の範囲内のことは積極的に協力した方がよいと思う
・特に小学校ではキリスト教か否かに関わらずキリスト教教育を軸に進めること
・法人内での礼拝、宗教行事、講演会等の参加 (中学校)
・ノンクリスチャンの生徒に対するキリスト教的視点に基づく教育等新機軸の創出 2
・ノンクリスチャンである多くの生徒とキリスト教へのかけはし
・礼拝での「お話し」(同式はキリスト教に願う)
・他校との交流(勉強会・講習)
・奉仕活動の実践
・建学の精神
・キリスト教とノンクリスチャンの垣根を作らず共有できることを絶えず探していくこと



質問10 ノンクリスチャンである教職員であるからこそ担える、キリスト教学校での役割は何だとお考えですか。

- 1. キリスト教に対して新鮮で素直に感じるからこそ先入観のないキリスト教教育
2. 大半はキリスト教でない児童・生徒と同じ立場でキリスト教を学ぶこと
3. 特になし

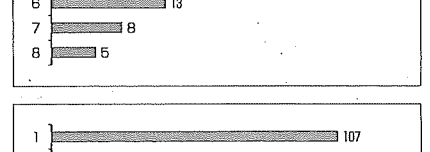
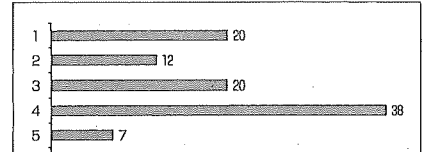


- 4. その他 (小学校)
・キリスト教の教職員が少ないのでキリスト教について理解する努力をしながら共に担っていくこと
・聖句を鵜呑みにせず、一般的な道徳と照らし合わせて児童と共有できるよう心がけている
・多くを占めるノンクリスチャンの児童・保護者の目線で学校に関わること
・キリスト教ではない側からの受け入れ方、考え方、願い、共通項など、パイプ的役割
・キリスト教を客観視した立場で時折物語を眺めること
・他宗教を知っていることで、相対的にキリスト教をとらえられる点 (中学校)
・キリスト教に対して感じる率直な疑問・批判 2
・生徒と同じ視座から「見えないもの」をともに考えること
・キリスト教が当然と考えることとの違和感のギャップを伝えること

- ・生徒の宗教や信念を尊重する意識の醸成
・キリスト教各教派の良いところを取り入れること
・キリスト教学校の建学の精神をベースとした人間教育
・ノンクリスチャンだから伝えられることがある。生徒に共感共有できると考える
・ノンクリスチャン教職員といっても経験の多少がさまざまで「いろいろな者がいる」の良い例のひとつとなるのではないかと
・キリスト教、ノンクリスチャンにはこだわらない、精神的な基礎は同じであることを生徒に伝えたい
・キリスト教の立場から見ると「そういう見方もある」というように、生徒の視野を広げられる
・信仰とは異なる観点からキリスト教を批判(良い面も含めて)することができる
・ノンクリスチャンの立場でキリスト教教育の良さや大切さを伝えること
・キリスト教教育に違和感や反感を持つ生徒にノンクリスチャンという立場から説得を試みること
・キリスト教の考え方や共有すること
・キリスト教でないからこそキリスト教について伝えることができるのではないかと
・キリスト教はややもすると自明のこととして話を展開することがあるので児童や生徒に何だろう、話をすればよいかアドバイスする。
・建学の精神の共有

質問11 今後、キリスト教学校につとめるノンクリスチャンの教職員として今まで以上に取り組んでみたいと思っっていることは何ですか。

- 1. 学校の礼拝へのより積極的なしなかたでの参加
2. キリスト教に関する授業
3. 学校のキリスト教関連行事の企画・運営
4. 聖書をより深く読むこと
5. 校外で実施されるキリスト教教育に関する研修会等への積極的参加
6. 近隣の教会の礼拝などへの出席
7. 校外のキリスト教プログラムへの参加
8. なし



- 9. その他 (小学校)
・子どもたちと祈ること。まず自分が神に向いていくこと
・自校のキリスト教教育から突出することなく携わっていききたい
・キリスト教に関する授業の見学や、性教育等の関わりを勉強したい
・先入観、抵抗感を持たずに聖書と向き合っていきたい
・聖書研究
・教科に聖書の内容を反映させる
・HRなどでキリスト教に基づく子どもたちへの話 (中学校)
・キリスト教員との会話 3
・キリスト教関連行事の協力
・生徒参加型キリスト教クイズ選手権
・まずは気持ちや向き合う態度について今まで以上に取り組みたい
・価値観の違いや無知から、相手を不快にさせてしまうのではないかとという緊張感が常にある。その結果指示待ちになってしまふ
・生徒と共に活動し、人の役に立ち、自己有用感を持つ場を持つ取り組みを行いたい
・礼儀や挨拶の指導や質素活動の奨励
・自分の言葉でキリストの生き方や聖書の教えを生徒・保護者に語られるようになること
・教科教育の中で建学の精神たるキリスト教主義をどのように活かし、宗教科などと連携していくかについての研究・実践
・聖書科の先生方の取り組みをサポートする形で何かできれば良いと思う
・キリスト教員からの希望に添えるよう手伝いたい
・具体的な奉仕活動の実践
・本学の建学の精神から見た教科教育や適格指導・相互の理解を色眼鏡でなく行えるような環境作り
・聖書を人間的・道徳的に読むこと
・他のキリスト教学校との交流
・今までどおりでよい

キリスト教教育者物語

安井てつ (1870-1945)

東京女子大学

東京女子大学(1918年創立)の初代学監... 安井は、つねづね東京女子大学独自のキリスト教精神を「サムシング・アーツ教育」...



若き日の安井てつ

大阪YMCA初代総主事 佐島啓助

1882年6月4日、大阪のキリスト教徒の有志が集まり、天満教会にて「大阪基督教徒青年会」を組織したのが大阪YMCAの始まりです。



1898年9月には「大阪青年会夜学校」を開校し、読書、習字、数学、英語、簿記の各クラスが開講されました。



青年会英語学校高等科卒業生(1907年度)

公募

- ▽東北学院大学 文学部総合人文学科 職種II 経緯神学、宗教学、日本思想、教授、准教授又は講師各1名

キリスト教Q&A

—キリスト教の理解を深めるために—

鬼形恵子 (横浜英和学院宗教主任)

Q. 聖書はどう読めば理解しやすいですか? A. 聖書の物語について書かれた本や、誰かと一緒に読むと手掛りになります。

聖書はその背景となる歴史や文化を知り、当時の時代の中に物語を再現していくことで、登場人物の思いが生き生きと伝わってくるようになります。聖書の人々が現代を生きている私たちと同じように悩んでいたことを知り、イエスの言葉が生きたリアルな言葉として迫ってくるのです。

事務局だより

2016年度が終わろうとしている。2016年度が終わるまで、多様化した社会にあって、独自性を出すことが、とても難しい情勢となっている。...

- <行事予定> 6/9、10 第105回定時総会 (東北学院) 17 第62回東日本小学校教職員協議会 (立教女学院小学校) 7/22-24 第61回事務職員夏期学校 (東山荘)